

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	一般小売店〔酒〕（経営者） 一般小売店〔医薬品〕（経営者） 乗用車販売店（経営者） 乗用車販売店（従業員） その他専門店〔酒〕（経営者） 美容室（経営者） 住宅販売会社（従業員）	・当社オリジナルブランドの新酒が3月に販売されることから、今後売上は増加する。 ・客は、本当に必要な物や関心がある物は購入する傾向にあるため、今後は、接客次第で売上は増加する。 ・4月から実施される自動車優遇税制の効果と、減税対応商品の投入に各メーカーがしのぎを削ることで、乗り換えが促進される。 ・低公害車への乗り換えで消費税分5%を助成する県独自の消費刺激策の効果が今後も続き、販売台数が増加する。 ・国内の経済危機や雇用問題が近く改善される見込みは全くないが、当地域では、景気対策として販売された地域限定商品券が完売となっていることから、少なからず同商品券の使用期間内は消費者の購買意欲が高まり、地域全体の景気は回復する。 ・定額給付金が支給されれば、現在よりは多少良くなる。 ・3～5月にかけて、遅れていた受注が集中する時期となる。
	変わらない	商店街（代表者） 百貨店（営業担当） 百貨店（売場担当） スーパー（店長） スーパー（店長） スーパー（店長） 衣料品専門店（経営者） 衣料品専門店（経営者） 衣料品専門店（店長） 衣料品専門店（店長） 乗用車販売店（経営者） その他専門店〔化粧品〕（経営者） 高級レストラン（支配人） 一般レストラン（経営者） 旅行代理店（従業員） タクシー運転手 通信会社（営業担当） 観光名所（職員）	・当面は、売上の大きな落ち込みはないが、前年割れの状況が続く。 ・雇用情勢の悪化や所得減少が今後本格化することから、個人消費の回復は考えにくい。 ・卒業式や入学式向け商品や春物衣料の需要期を迎えるが、量販店やネット販売など競合が多く、客は比較できる環境にあることから、今後も厳しさを増す。様々な企画を立ち上げ、媒体を通じて客に情報提供をしているが、客の関心と合致しない限り、大きく当たることはない。 ・競合各社もチラシ価格を強化して売上確保に努めているため、価格競争が激化している。今後もこの傾向は強まり、収益面でマイナスの影響が現れる。 ・チラシ特売品の価格を引下げる売上不振対策の集客効果が現れていることから、今後もこの対策を継続する。 ・製造業の景気悪化により、客の財布のひもが固くなっていることから、売上は現状維持のまま横ばいに推移する。 ・必要な物以外は買わないという客の消費傾向が今後も続く。 ・これ以上悪くなることはないが、売上増加は期待できない。 ・フレッシュアーズ需要の増加や、春物カジュアルの立ち上がりにより、前年並みの売上を確保しているが、フレッシュアーズ需要が一段落する4月以降の動きが読めない。 ・景気が回復する兆しはなく、今後も客の買い控え傾向が続く。 ・他社の新型ハイブリッドカーの発表を追い風に、イベントの来客数も増加傾向にある。新年度からの環境対応車への自動車優遇税制の実施により、売上の増加を期待しているものの、それまでは買い控えの傾向が続く。 ・消費マインドが冷え込んでおり、客単価は低下傾向にあるが、今後、定額給付金の支給やプレミアム商品券の発行、中心街区における催事の開催により、多少動きが出てくる。 ・客目線による業務改革により、新規客の獲得を図ることから、来客数の減少傾向に歯止めが掛かる。 ・レストランでお金を使うことに罪悪感を抱くような風潮がまん延しており、来客数が減少している。景気回復の材料が乏しいなか、今後も悪い状況が続く。 ・旅行の問い合わせが例年より減少しており、景気回復の兆しも全く感じられないことから、今後も厳しい状況が続く。 ・タクシー業界でも倒産する会社が始まっており、今後もますます厳しい状況となる。 ・政局が混迷するなか、政府による景気対策が何もみえてこないことから、今後も厳しい状況が続く。 ・来客数が底を打っており、悪い水準のまま横ばいの状況が続く。

やや悪くなる

商店街（代表者）	・テナントとして中心商店街に出店している大中規模のメーカーやチェーン店が撤退し始めており、街はシャッター通りになるのではないかと懸念している。
商店街（代表者）	・公立高校の合格発表がある3月中旬以降でなければ、遠のいている客足は戻らない。
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・マスコミによる不況報道の影響もあり、将来への不安がますます高まることから、消費マインドは更に冷え込む。
百貨店（売場主任）	・客は、必要に迫られて購入する以外は、たとえバーゲンといえども衝動買いをしない傾向が強まっており、今後も厳しさを増す。
百貨店（広報担当）	・景気の先行き不透明感やマスコミの不況報道の影響により、消費マインドは更に冷え込む。
百貨店（販促担当）	・春物商戦に移行しても客の単品買いが目立っており、また、ここ数か月間で主要取引先が倒産していることから、今後の見通しも暗い。
百貨店（経営者）	・景気回復の糸口がみえない状況のなか、雇用や所得減少に対する先行き不安から、個人消費は縮小傾向が続く。
百貨店（経営者）	・地元企業の倒産や人員削減、マイナス決算など、個人消費への逆風はますます強くなる。
スーパー（店長）	・客単価や1点単価の低下傾向は今後も強まる。
スーパー（店長）	・大手メーカーの生産調整の影響で、関連会社や下請会社の廃業や倒産が増加していることから、今後も景気は厳しさを増す。
スーパー（店長）	・競合店の出店や雇用不安の高まりにより、今後売上が減少する。
スーパー（総務担当）	・食料品は、低価格品や、ひと工夫で美味しく食べられる商品の買上点数が増加しているが、好性の高い物は横ばい、高額品は減少傾向にあることから、今後も消費の減退がじわじわと進行する。
コンビニ（経営者）	・工事案件の減少に伴い、建設業者の来客数が減少しており、今後もこの傾向は続く。
コンビニ（エリア担当）	・タスポ効果が薄れてきており、売上が前年を下回るのは時間の問題である。
コンビニ（エリア担当）	・消費が低迷するなか、周辺に競合店が数店オープンすることから売上の取り合いとなる。
住関連専門店（経営者）	・輸出産業の減産に伴う雇用情勢の悪化を背景に、客の財布のひもは固くなり、当社の主力商品である耐久消費財の売上は減少する。
その他専門店〔パソコン〕（経営者）	・企業利益の確保のため、今後も低賃金雇用が増加することから、家計は厳しさを増す。
その他専門店〔食品〕（経営者）	・当社の販売エリアは全国に及んでいるが、現在の国内経済の状況を見ると、今後回復するのは容易ではない。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・政府の景気対策は期待できず、先行き不安による客の買い控え傾向は今後も強まる。
その他飲食〔弁当〕（スタッフ）	・企業倒産に関するマスコミ報道の影響により、消費マインドは更に冷え込み、来客数や売上の減少につながる。
観光型ホテル（経営者）	・景気が回復する要素は全くない。今後、解散総選挙が行われれば、客は行動を手控えるため最悪の状況となる。
都市型ホテル（スタッフ）	・今後実施される県知事や市長選挙に伴い、消費者は行動を抑制することから、一般宴会の売上が減少する。
旅行代理店（従業員）	・先行きの受注の状況が芳しくなく、今後も厳しさを増す。
タクシー運転手	・派遣社員の雇止めや採用の中止など、4月をピークに地域の景気は厳しさを増す。
通信会社（営業担当）	・商品の動きが悪く、在庫削減が進まないことから、受注が滞るといふ悪循環が今後もしばらく続く。
通信会社（営業担当）	・景気回復の要因が見当たらない。今後は政府による景気対策に期待するしかない。
通信会社（営業担当）	・景気回復までは長期間要することから、今後の見通しは暗い。
通信会社（営業担当）	・世界的な金融不安が続いており、景気が回復するような明るい材料が全く見当たらない。
遊園地（経営者）	・定額給付金が支給されるものの、雇用不安から消費マインドは更に低下する。
商店街（代表者）	・予約の状況から、企業の決算時期の売上は最悪となり、4月以降も尾を引くことが予想される。
商店街（代表者）	・客の節約志向が強くなっており、商店街のイベントも減少していることから、今後も厳しさを増す。

悪くなる

一般小売店〔茶〕（経営者）	・消費者は、購買意欲はあるものの所得減少により買えないというのが実情であり、今後も厳しさを増す。
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・老後に経済的不安を抱える高齢者のほか、家計に余裕がある消費者も買い控えをしている状況にあることから、今後も厳しさを増す。
一般小売店〔雑貨〕（企画担当）	・年金や医療などの社会保障への先行き不安が高まるなか、株価が低下し、所得の増加が見込めないことから、今後も消費は落ち込む。
百貨店（企画担当）	・鉱工業指数も改善傾向になく、今後も消費低迷は続く。政府の経済対策も力強さを感じないことから、景気の底打ちは当面先となる。
百貨店（経営者）	・企業決算の発表に伴い、消費者の先行き不安が更に高まり、負の連鎖が進む。
スーパー（経営者）	・製造業では非正規社員の大量解雇が行われているが、今後、建設業やその他業種にも波及し、個人消費は更に落ち込む。
スーパー（経営者）	・電機、自動車関係の雇用情勢の悪化やデフレの進行に伴い、今後も厳しさを増す。
コンビニ（経営者）	・当地域は製造業が多く、リストラや出張減少の影響で、当店のほか、居酒屋やホテルの来客数も減少しており、今後もこのような傾向が続く。
コンビニ（経営者）	・リストラの増加や、新卒学生の就職難により、今後も消費マインドは低下する。
コンビニ（経営者）	・景気回復の要素が見当たらない。長期的な不景気の始まりにすぎず、今後も厳しい状況が続く。
コンビニ（エリア担当）	・製造業、建築業における雇用不安が消費を冷え込ませており、回復する要素が全く見当たらないことから今後も厳しさを増す。
コンビニ（店長）	・赤字決算企業の大幅な増加や、デフレの進行など、景気回復の兆しが全く見当たらない。
衣料品専門店（経営者）	・年度末に掛けて、派遣切りや雇止めが増加することから、先行き不安が高まり、消費マインドはますます冷え込む。
衣料品専門店（店長）	・フレッシュマン以外のビジネスマンや一般客の動きが悪くなっていることから、4月以降、売上の落ち込みが懸念される。
衣料品専門店（店長）	・景気回復の要因が今のところ見当たらず、市場は冷えきったままの状況が続く。景気が回復傾向になったとしても、衣料品の購入は後回しとなるのが実情である。
衣料品専門店（総務担当）	・取引先の状況をみても景気が上向くような材料は見当たらない。
乗用車販売店（経営者）	・4月から、環境対策車への優遇税制が施行されるが、景気悪化に伴う個人所得の減少や、厳しい企業決算の影響で、購入意欲が喚起される状況にはならない。
乗用車販売店（経営者）	・4月以降、自動車優遇税制が実施されればプラスの材料となるが、客は価格に対してシビアになっており、さらに車検についてもディーラーとの価格競争が激化していることから、今後も厳しさを増す。
住関連専門店（経営者）	・景気回復のための好材料が見当たらず、消費マインドは更に冷え込む。
住関連専門店（経営者）	・家計が厳しく、当社の主力商品である仏壇を買えない客が増加しており、今後もこのような状況が続く。
その他専門店〔酒〕（営業担当）	・政治、経済の混乱が続くなか、マスコミの不景気報道による影響も加わり、消費は更に縮小する。少なくとも今年の後半までは景気回復の目処が立たない状況にある。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・景気悪化が予想以上に進んでおり、3月決算を乗り切れない企業が續出することから、消費は更に落ち込む。
高級レストラン（経営者）	・景気が回復する材料が見当たらないため、今後も厳しさを増す。
一般レストラン（経営者）	・売上の減少傾向が続いており、前年に比べて大幅に落ち込んでいる。今後は、減税などの景気対策を実施しない限り、消費は回復しない。
一般レストラン（経営者）	・景気が回復する要素が見当たらず、今後3月決算を控えて倒産する企業が増加することから、消費は更に落ち込む。
一般レストラン（経営者）	・リストラや休業を実施する企業が増加しており、不景気が加速する要素しか見当たらないことから、消費は更に落ち込む。

		観光型旅館（経営者）	・予約状況から2、3か月先の動きが悪くなっている。当地域がアカデミー賞受賞作品のロケ地となっていることから、観光客が増加することを期待している。
		観光型旅館（経営者）	・観光客の減少により、土曜日でも満室にならない日があり、3月以降も平日の予約の動きが鈍くなっている。
		都市型ホテル（経営者）	・現時点での宴会関係の予約状況は、前年に比べ16%の減少となっており、今後売上は10%程度の減少が予測される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・比較的安定していた一般宴会も急激に減少しており、今後もこの傾向は続く。特に5月は、団体や協会関係の総会シーズンであるが、会員の脱退、退会が増加している業種もあると聞いているため、参加人数の減少が予想される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・企業業績の悪化に伴い、定例の会合のキャンセルが増加しており、レストランや宿泊などの個人利用も減少している。このような状況は今後も続く。
		タクシー運転手	・底のみえない不景気でタクシー業界は深刻な状況にあり、景気回復には長期間を要する。
		通信会社（営業担当）	・雇用情勢はますます厳しくなり、消費は更に落ち込む。
		通信会社（営業担当）	・景気回復の材料が全く見当たらず、今後も厳しさを増す。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・景気が回復する材料が全くなく、底打ちする時期も見当がつかない。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	-	-
		建設業（経営者）	・資材の値上がりが一段落しており、小口の需要から動きが出てくる。
	変わらない	司法書士	・住宅ローン減税の拡充など、新年度の住宅関連税制の改正は、不動産購入の動機付けになる。
		食料品製造業（経営者）	・当業界は数年前からこれ以上悪くならないところまで落ち込んでおり、今後も景気が良くなるような材料は全くない。
		食料品製造業（総務担当）	・原材料や包装資材の価格が低下することが予測されるが、受注回復には更に時間を要する。
		木材木製品製造業（経営者）	・市況の悪化により、当面は採算割れの販売競争が続く。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（企画担当）	・最近の円安傾向や原油価格の低下、高速道路料金の引下げなどにより、景気回復までは期待できないが、悪化に歯止めが掛かり、売上は低水準のまま横ばいで推移する。
		農林水産業（従業者）	・直売所に出荷している農産物は、価格が安い競合農家の売行きが良くなっており、この傾向は今後も続く。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・取引先では、景気回復のための好材料が全くみられないことから、今後も厳しさを増す。
		土石製品製造販売（従業者）	・当面は、大規模工事の予定もなく、受注の減少傾向が続く。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・政府による実効的な資金繰り対策が行われなければ、中小企業の倒産件数は今後更に増加する。
		金融業（広報担当）	・失業者が増加し、個人消費の悪化傾向に歯止めが掛からないことから、今後も売上の減少傾向が続く。
		広告代理店（経営者）	・得意先企業の次年度予算の縮小が発表され、先行きが厳しい新年度のスタートとなる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込チラシの依頼件数は、予測がつかないほど落ち込んでおり、今後も厳しさを増す。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・飲食店の閉店が増加しており、小売店では代金回収に苦労している。このような状況は今後も続く。
		協同組合（職員）	・半導体関連は依然として動きがない。今後は在庫調整が多少進むものの、受注回復には時間を要する。
		悪くなる	農林水産業（従業者）
	出版・印刷・同関連産業（経理担当）		・各企業では、景気の先行き不透明感から経費削減を推進しており、真っ先に広告宣伝費が削られることから、印刷業界は厳しさを増す。
	一般機械器具製造業（経理担当）		・自動車部品については、一層の受注減少が予測されており、需給量は例年の50%以下となる。
建設業（企画担当）	・今後の見通しが立たない状況にあり、当面は厳しい状況が続く。		
輸送業（従業者）	・物量の減少により代理店では撤退を模索し始めており、今後も厳しさを増す。		
通信業（営業担当）	・グループ企業間においても、既存契約の継続に厳しい反応が出始めており、今後も厳しさを増す。		
広告業協会（役員）	・4月以降の広告出稿の引き合いが極端に減少しており、今後も厳しさを増す。		

		<p>広告代理店（経営者）</p> <p>経営コンサルタント</p> <p>公認会計士</p> <p>コピーサービス業（経営者）</p> <p>その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）</p> <p>その他企業〔企画業〕（経営者）</p>	<p>・取引先企業の予算縮小や物量減少など、明るい話題が全くないことから、今後も厳しさを増す。</p> <p>・近い将来の見通しが立たないなか、新たな投資を行う企業は少なく、それが多くの関連産業の低迷に直結している。</p> <p>・公共工事や民間の設備投資の減少、消費低迷など、マイナス材料ばかりで、景気回復のためのプラス材料が見当たらない。</p> <p>・景気回復のための好材料が見当たらないことから、個人や企業の消費は更に落ち込み、来客数も減少する。</p> <p>・当社の販売エリアは中小企業が多く、所得減少が顕著な地域であることから、購買力の減退が今後も続く。</p> <p>・住宅会社や人材派遣会社の受注が減少しており、今後も景気は厳しさを増す。</p>
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・製造業を中心に雇用調整が始まったばかりであり、回復の見通しは立たないが、一方で通信、エネルギー、サービスなど堅調な業種もあり、今以上の悪化は考えられない。
		人材派遣会社（社員）	・政府による景気対策や雇用対策の効果が現れず、求職者からは絶望やあきらめ声が多く聞かれることから、今後も厳しい状況が続く。
		人材派遣会社（社員）	・企業の求人意欲が回復するような好材料が全く見当たらない。
		人材派遣会社（社員）	・内部監査や内部統制、各種認証取得など、事務職の業務量が増加傾向にあるなか、人員削減を今後更に進めれば、残業や休日出勤だけではカバーできない状況となる。
		職業安定所（職員）	・企業倒産や雇止めが増加しており、企業の採用活動は今後更に停滞する。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は、前年比で2か月連続の増加となっているが、有効求人倍率は低下しており、今後もこのような傾向が続く。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・正規社員にまで雇用調整の動きが出ており、今後も雇用情勢は厳しさを増す。
	悪くなる	人材派遣会社（社員）	・ほとんどの派遣先企業では、経営が疲弊していることから、派遣契約終了の通告が増加しており、厳しい状況が続く。
アウトソーシング企業（社員）		・民間受注が減少するなか、官公庁からの受注競争が激化することから、収益は更に圧迫される。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）		・京阪方面の企業からの求人が激減するなか、関連する地方企業からの求人も減少しており、今後もこのような状況が続く。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）		・世界不況の影響で県内経済も不況感が増しており、今後も更なる消費減退や生産活動の抑制により、雇用情勢は厳しさを増す。	
職業安定所（職員）		・景気回復の好材料が見当たらず、今後、雇用情勢が改善するまで相当の期間を要する。	
職業安定所（職員）		・雇用調整助成金に関する相談が増加しており、今後も雇用情勢は厳しさを増す。	
職業安定所（職員）		・雇用調整の動きが止まらず、底がみえない状況にある。	
職業安定所（職員）		・業績悪化による人員削減の情報が多数寄せられており、雇用情勢は今後も厳しさを増す。	
		職業安定所（職員）	・半導体製造業の希望退職者募集や、電子部品・プリント配線基板メーカーの工場閉鎖が決定しており、今後、他の関連企業へ波及し、大量の離職者が発生する。